

## 「生命科学・医学系研究に関する情報公開文書」

研究機関名：東北医科薬科大学病院

受付番号	2021-2-328
倫理審査（初回審査）	西暦 2022 年 3 月 18 日
研究課題名	肺腫瘍患者における血漿中の LILRB4 の解析
研究の対象	「血中可溶性免疫チェックポイント分子(sPD-L1,sPD-1,sCTLA4)と肺癌治療効果の相関の検討」に参加いただいた方で、その際の残余検体にて LILRB4 の測定が可能な方を本研究の対象とします。
研究の目的・方法	「血中可溶性免疫チェックポイント分子(sPD-L1,sPD-1,sCTLA4)と肺癌治療効果の相関の検討」の凍結残余検体を用いて、LILRB4 を ELISA 法で測定し臨床病理学的特徴や血中免疫チェックポイント分子との相関、治療効果や予後などを検討します。 研究期間 研究実施許可日～2025 年 03 月 31 日
調査データ該当期間	西暦 2020 年 1 月 1 日 ～ 西暦 2025 年 3 月 31 日
研究に用いる試料・情報の種類	試料:「血中可溶性免疫チェックポイント分子(sPD-L1,sPD-1,sCTLA4)と肺癌治療効果の相関の検討」の凍結残余検体 情報の種類: 1.具体的にはカルテ（電子カルテ、紙カルテ）より対象患者さんの年齢、性別、Performance Status、肺癌の組織型、転移箇所、遺伝子変異の有無、PD-L1 発現の程度、手術歴（術式）、治療歴、薬物治療の詳細（レジメン、副作用など）、奏効、（術後）再発の有無、生存期間、観察期間内の検査結果（血液検査、画像検査など）、死亡の有無など研究に必要と判断された種々の情報を抽出します。2.「血中可溶性免疫チェックポイント分子(sPD-L1,sPD-1,sCTLA4)と肺癌治療効果の相関の検討」で得られた血中可溶性免疫チェックポイント分子のデータを用います。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者もしくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、研究対象者に不利益が生じることはありません。

	<p>【照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先】</p> <p>研究代表者  東北医科薬科大学病院 呼吸器外科 氏名 佐々木高信  〒983-8512 仙台市宮城野区福室 1-12-1  TEL：022-259-1221（代表）</p>
--	---

#### ◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：上記「お問い合わせ先」

#### ※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 第9章第20の1(3)＞

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

#### ◆個人情報の開示等に関する手続

当院が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、当院の職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。診療情報に関する保有個人情報については、東北医科薬科大学病院 医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「個人情報保護方針」をご覧ください。

【東北医科薬科大学病院 個人情報、患者さんの権利】

[http://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/info/privacy\\_policy.html](http://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/info/privacy_policy.html)

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 第9章第20の2(1)＞

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合